

研究タイトル：

## 中唐文学研究／漢文教育／コミュニケーション教育



氏名：	畑村 学 / HATAMURA Manabu	E-mail：	hatamura@ube-k.ac.jp
職名：	教授	学位：	修士(文学)
所属学会・協会：	日本中国学会, 中国中世文学会, 中唐文学会, 広島漢文教育学会		
キーワード：	中国文学, 漢文教育, コミュニケーション教育, 漢詩		

技術相談  
提供可能技術：

### 研究内容： 中唐における史書編纂と文学活動の関係

憲宗の元和年間には、国家プロジェクトとして2つの実録の編纂と、1つの実録の修訂作業がほぼ同時期に行われた。実録とは、史官が先代の皇帝の治世を一代ごとに記録した正史である。この史書編纂が、同時代の文人の文学活動とどのように直接・間接に関連するかを研究している。

元和年間は、韓愈を中心とした、いわゆる「韓門」と呼ばれる集団に所属する文人が、散文の方面で活躍した時期である。また白居易や元稹等、中唐を代表する詩人が新楽府運動を積極的に行っていたのも同じ時期にも当たる。文人でありながらその多くが官僚(或いは官僚予備軍)でもあった中国の知識人たちにとって、政界中枢部の動きにより自身の創作活動は直接・間接に影響を受けたはずである。

上記のことを解明するために、現在は以下の点から研究を行っている。

- 1、白居易「新楽府五十章」の諸篇と「徳宗実録」「順宗実録」の関係
- 2、憲宗朝元如初～中期における前代史の編纂過程
- 3、中唐期における史官批判：良史の不在に関する発言とその真意

#### ※参照

- 畑村学：「白居易「新楽府・道州民」の制作意図—元和年間における実録編纂との関係について—」, 中国文史論叢, 第8号, pp.95-106(2012)
- 畑村学：「韓門文人の史家的性格—李翱を中心として—」, 中国中世文学研究, 第50号, pp.43-61(2006)
- 畑村学：「韓愈の史才と『順宗実録』」, 中国中世文学研究, 第44号, pp.45-61(2003)
- 畑村学：「『文選』史伝作家の研究—司馬遷と班固の評価の変遷を中心に—」, 中国古典文学研究, 創刊号, pp.7-10(2003)
- 畑村学：「韓愈史官就任新考」, 中国中世文学研究四十周年記念論文集, 白帝社, pp.217-235(2001)

### 提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)	